

平成 22 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「特別賞」

信濃毎日新聞「認知症－長寿社会」取材班

【授賞理由】

認知症という病気の存在に目を向け認知症高齢者や介護者だけでなく、地域がかかえている問題を報道という媒体をとおして、広く社会に知らしめた。日本がこれからどのように認知症と向き合っていかなければならないかを提唱した一連の活動は、認知症ケアのあり方に大きな一石を投じた。その功績に対し、本賞を授与するものである。

【会社概要】

信濃毎日新聞

明治 6 年創刊の地方紙。発行部数 48 万 3300 部（2006 年 1 月）

【主な活動】

「認知症－長寿社会」取材班

2010 年 1 月 3 日～6 月 29 日認知症をテーマにしたキャンペーン報道を行った。

認知症介護家族の孤立や、施設、医療、地域の現状などを追った社会面連載「笑顔のままで」（77 回）、全国の介護家族や県内介護施設、医師らを対象にしたアンケートによる調査報道（7 回）、介護や医療に役立つ情報を載せた「知っておきたい（医療編・介護編）」（くらし面、24 回）などを展開した。

また、要介護認定の大幅な見直しなどを求める「認知症対応社会に向けた八つの提言」を提起。全国より速く高齢化が進む県内を中心とした取材から、急増する認知症を受け止め、長い命を笑顔で全うできる社会への道筋を考えた。

（信毎だより 2010 年 7 月 8 日編集局より一部抜粋）

【業績および功績】

2010 年度新聞協会賞 編集部門(2010).

第 29 回ファイザー医学記事賞 大賞(2010).